

平成 25 年度
長岡市原子力防災訓練の記録

平成 25 年 11 月

長 岡 市

目 次

平成 25 年度 長岡市原子力防災訓練の記録

1. 実施概要

(1) 目的・実施日時・対象地域等	p 1
① 目的	p 1
② 実施日時	p 1
③ 対象地域	p 1
④ 訓練実施ポイント	p 1
⑤ 参加機関・協力団体	p 2
(2) 実施シナリオ	p 3
① シナリオⅠ「まずは屋内退避」	p 3
② シナリオⅡ「風向きなどを考慮し、要援護者の避難」	p 4
■訓練で実施した情報発信■	p 5

2. 実施結果

(1) シナリオⅠ「まずは屋内退避」	p 6
① 市から「屋内退避準備」を指示	p 6
② 市から「屋内退避」を指示	p 8
③ 市から「屋内退避指示」を解除	p 11
(2) シナリオⅡ「風向きなどを考慮し、要援護者の避難」	p 12
① 現地災害対策本部による要援護者の避難の決定	p 12
② 市から「要援護者の避難」を指示	p 15
③ 「要援護者の避難」を開始	p 15
④ 住民が「臨時避難先」に到着～閉会式	p 19
■訓練実施状況の情報発信■	p 20

1. 実施概要

(1) 目的・実施日時・対象地域等

① 目的

万が一の原子力災害への対応を図るために、国の原子力災害対策指針や、県市の防災計画などを踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所で緊急事態が発生した際の「適切な住民行動」を重視した訓練を実施。

② 実施日時

平成 25 年 10 月 13 日(日) 午前 7 時 00 分～10 時 00 分

③ 対象地域

対象地域：長岡市宮本地区、大積地区、青葉台地区など

④ 訓練実施ポイント

原子力災害時に固有の「屋内退避」や「風向きなどを考慮した避難」について、市民の理解を深めるために、以下の 3 つのポイントを設定。

■ 訓練実施の 3 つのポイント ■

1. 異なる 2 つのシナリオによる訓練を実施

- ・シナリオⅠでは、長岡市が重視する「まずは屋内退避」を実施
- ・シナリオⅡでは、屋内退避継続後に「風向きなどを考慮し、要援護者の避難」を実施

2. 市が新たに作成した「原子力災害対応マニュアル」などを活用し、防護対策を実施

- ・「原子力災害対策マニュアル」などを活用し、個人や自主防災組織の防護対策を実施

3. 市がこれまで整備してきた情報伝達機器の活用や関係機関との連携

- ・緊急告知 FM ラジオ、携帯電話メール、町内会への自動音声電話(実験)等による広報
- ・市、自主防災組織、関係機関との連携を確認

⑤ 参加機関・協力団体

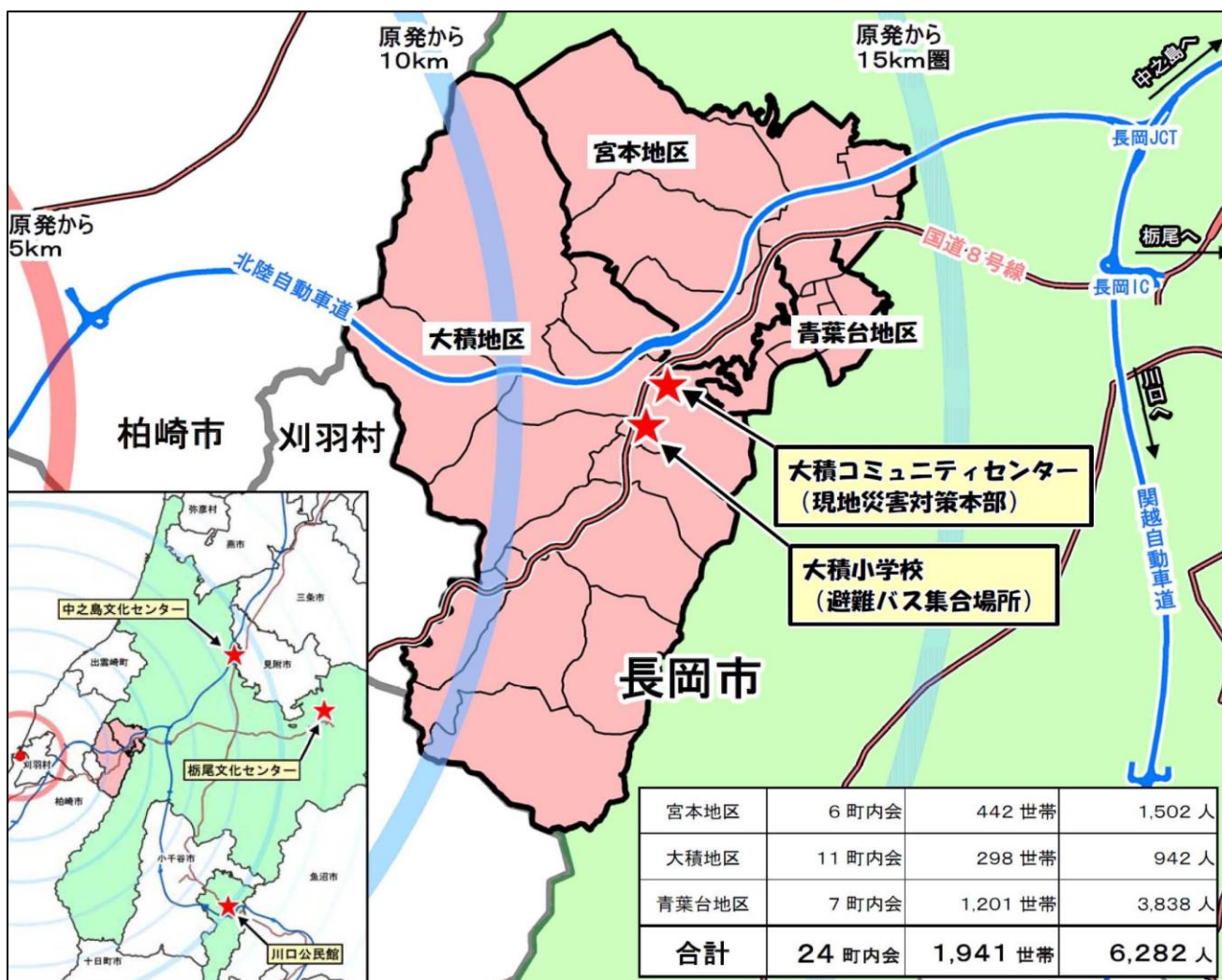
【地元関係者】

宮本地区、大積地区及び青葉台地区の町内会(自主防災会) 約 6,300 人対象

【防災機関等】

原子力規制庁柏崎刈羽原子力規制事務所、国土交通省長岡国道事務所、気象庁新潟地方気象台、新潟県、長岡警察署、長岡市社会福祉協議会、(社)長岡市薬剤師会、中越市民防災安全士会、東日本高速道路(株)新潟支社、(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンクテレコム(株)、(株)エヌ・シー・ティ、長岡移動電話システム(株)、NPO法人住民安全ネットワークジャパン、東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所、越後交通(株)、サントリービバレッジサービス(株)、ダイドービバレッジサービス(株)、大塚製薬(株)、(株)アルカディア(順不同)

■ 訓練会場図 ■



(2) 実施シナリオ

① シナリオ I 「まずは屋内退避」

【宮本地区、大積地区、青葉台地区 約 6,300 人対象】

緊急事態発生	時刻	訓練内容
<p>施設敷地 緊急事態 (10 条事象)</p> <p>※5km 圏では ①要援護者等 の避難開始 ②安定ヨウ素 剤の服用準備</p> <p>なお、原発から 大量の放射性 物質の放出な し</p>	7:00	<p>◎ <u>市から「屋内退避準備」を指示</u></p> <p>☆ 情報機器を活用した情報発信</p> <p>(・ 緊急告知 FM ラジオ ・ エリアメール ・ NPO メール ・ ケーブルテレビ ・ 市ホームページ)</p> <p>☆ 市から町内会長への電話連絡 (職員・自動音声)</p> <p>☆ 市広報車、消防団、警察による広報</p> <p>◎ <u>自主防災組織内で「情報伝達」</u></p>
<p>全面 緊急事態 (15 条事象)</p> <p>※5km 圏では ①一般住民の 避難開始 ②安定ヨウ素 剤の服用指示</p> <p>なお、原発から 大量の放射性 物質の放出な し</p>	7:15	<p>◎ <u>市から「屋内退避」を指示</u></p> <p>☆ 情報機器を活用した情報発信</p> <p>(※ 今回の訓練では、 ・ ケーブルテレビ ・ 市ホームページ のみ)</p> <p>☆ 市から町内会長への電話 (自動音声)</p> <p>☆ 市広報車、消防団、警察による広報</p> <p>◎ <u>住民は「屋内退避」を実施</u></p> <p>☆ 原子力災害対策マニュアルを使い、屋内退避</p>
<p>緊急事態 収束</p>	8:00	<p>◎ <u>市から「屋内退避解除」を指示</u></p> <p>☆ 情報機器を活用した情報発信</p> <p>(※ 7:00 の伝達手段と同じ)</p>
シナリオ I 訓練終了		

② シナリオⅡ「風向きなどを考慮し、要援護者の避難」

【大積地区参加者 約 100 名】

訓練に至る想定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数日間の屋内退避を継続中 2. 訓練地区のいくつかの地点で平常時の上限値に近い値を計測 3. 市は、念のため、要援護者の避難準備を国（合同対策協議会）と協議 4. 風向きなどの気象情報や緊急時モニタリング結果、道路情報などを収集中
---------	---

全面 緊急事態 (15 条事象) が継続	時刻	訓練内容
	8:05	◎ <u>現地災害対策本部会議</u> ☆ 緊急時モニタリング、風向きなどの気象情報、道路情報、地域の特性等を考慮し、国（合同対策協議会）との協議結果を踏まえ、大積地区の要援護者避難を決定。合わせて、臨時避難先を中之島文化センターに決定。
	8:15	◎ <u>市から「要援護者の避難」を指示</u> ☆ 市から町内会長への電話（自動音声） ☆ 市広報車による災害広報を開始
	9:00 頃	◎ <u>住民は「要援護者の避難」を開始</u> ☆ 消防団による要援護者避難支援の開始 ☆ 自家用車を想定したレンタカーによる避難の開始 ☆ 避難バス、福祉車両が大積小学校に集結
	9:30 頃	◎ <u>住民が「臨時避難先へ到着」</u> ☆ 自家用車避難者が臨時避難所に到着 ☆ 避難バス、福祉車両が臨時避難先に到着
9:45 頃	◎ <u>閉会式</u>	
シナリオⅡ 訓練終了		

放射線量の値が下がったことを確認

緊急事態収束

■ 訓練で実施した情報発信 ■

【緊急事態発生時の広報】

- ・市の防災計画に基づき、緊急事態の発生や屋内退避の指示等を住民に確実に伝えるため、複数の方法により情報を伝達した。



【訓練実施状況の発信】

- ・柏崎刈羽原子力発電所の緊急事態発生時における具体的な住民行動の理解を深めるため、訓練実施状況(動画)を市ホームページ上でリアルタイムに公開した。

訓練実施状況

市のホームページに訓練実施中に即時配信

録画映像リスト	
<p>1) 情報伝達 町内会長宅 FMラジオ・エリアメール・電話で情報入手、副会長へ電話</p>	<p>2013/10/13 am 7:00 再生する</p>
<p>2) 情報伝達 大橋コミュニティセンター前でアナウンスする広報車が通過</p>	<p>2013/10/13 am 7:30 再生する</p>
<p>3) 緊急時モニタリング 大橋コミュニティセンター玄関前で緊急時モニタリング実施</p>	<p>2013/10/13 am 7:35 再生する</p>

現在も公開中
※<http://xbs.jp/genshiryoku/>

2. 実施結果

(1) シナリオ I 「まずは屋内退避」

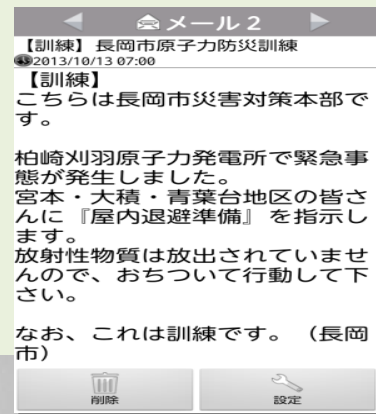
【宮本地区、大積地区、青葉台地区 約 6,300 人対象】

① 市から「屋内退避準備」を指示

柏崎刈羽原子力発電所で緊急事態が発生したという想定で、対象地域の住民に対し、屋内退避の準備を行うように指示（屋内退避準備指示）を発令した。指示の内容は、市防災計画に基づき、さまざまな媒体を活用して住民に伝達した。

■情報機器を活用した情報発信

緊急告知FMラジオ、エリアメール、NPOメール、ケーブルテレビ、市ホームページなどを通じて情報発信した。



エリアメールによる
情報発信

7:00



緊急告知 FM ラジオによる
情報発信

【訓練】長岡市原子力防災訓練【訓練】
緊急事態が発生しました。宮本・大積・青葉台地区の皆さんに『屋内退避準備』を指示します

ケーブルテレビによる屋内退避準備指示の広報

■市から町内会長への「屋内退避準備指示」の電話連絡(情報伝達訓練)

市から宮本地区、大積地区、青葉台地区の各町内会長等へ、電話(職員、自動音声)により柏崎刈羽原子力発電所での緊急事態発生と屋内退避準備の指示を伝達した。



市からの事故情報の連絡

■市広報車、消防団、警察による広報

宮本地区、大積地区、青葉台地区で、市広報車、消防団車両、パトカーによる『屋内退避準備指示』の広報を実施した。

[市広報車による広報内容(屋内退避準備指示)]

「訓練、訓練、訓練 こちらは、長岡市災害対策本部です。
柏崎刈羽原子力発電所で緊急事態が発生しました。
宮本・大積・青葉台地区の皆さんに『屋内退避準備』を指示します。放射性物質は放出されていませんので、落ち着いて行動してください。
なお、これは訓練です。」

7:00

【宮本地区】



【青葉台地区】



【大積地区】



■自主防災組織内で「情報伝達」

7:00

宮本地区、大積地区、青葉台地区の住民は、「原子力防災訓練参加者用『屋内退避対応マニュアル』」を参考に、自主防災組織内での情報伝達（連絡網を活用した電話連絡や、各戸訪問による連絡など）を実施した。

② 市から「屋内退避」を指示

柏崎刈羽原子力発電所で緊急事態がさらに進展したという想定で、対象地域の住民に対し、屋内退避を行うように指示（屋内退避指示）を発令した。

■情報機器を活用した情報発信

訓練では、ケーブルテレビ、市ホームページを通じて情報発信した。

※実際の災害時は、屋内退避準備指示と同様に緊急告知FMラジオ、エリアメールなどさまざまな媒体を通じて情報伝達を実施。



The screenshot shows the Nagasaki City Disaster Preparedness Home Page. A specific announcement titled '【訓練】『屋内退避指示』' (Training: 'Indoor Evacuation Instructions') is highlighted. The announcement text reads: '【訓練】こちらは長岡市災害対策本部です。柏崎刈羽原子力発電所で緊急事態が発生しました。『屋内退避』を指示します。直ちに行動して下さい。なお、これは訓練です。' (Training: This is the Niigata City Disaster Preparedness Headquarters. An emergency situation has occurred at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant. We instruct 'Indoor Evacuation'. Please act immediately. Note: This is a training exercise.)

7:15

屋内退避の指示を「ながおか防災ホームページ」へ公開

■市から町内会長への伝達、広報車等による広報

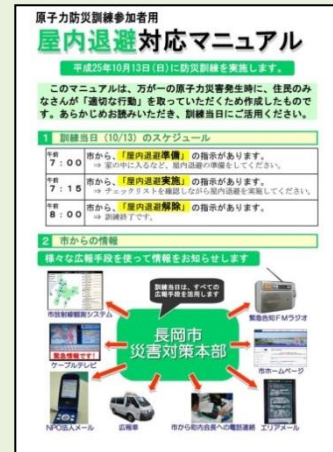
屋内退避準備指示と同様に、市から宮本地区、大積地区、青葉台地区の各町内会長等への電話連絡（自動音声）や各地域での広報車等による広報により、屋内退避の指示を伝達した。

〔市広報車による広報内容（屋内退避指示）〕

「訓練、訓練、訓練 こちらは、長岡市災害対策本部です。柏崎刈羽原子力発電所で緊急事態が発生しました。宮本・大積・青葉台地区の皆さんに『屋内退避』を指示します。放射性物質は放出されていませんが、直ちに行動してください。なお、これは訓練です。」

■各地域の住民は屋内退避を実施

宮本地区、大積地区、青葉台地区の住民は、「原子力防災訓練参加者用『屋内退避対応マニュアル』」を参考にして、自宅で屋内退避を実施した。



屋内退避対応マニュアル
(訓練参加者に事前配布)

■屋内退避の実演を実施

今回の訓練において、屋内退避時の行動の理解を深めるため、大積コミュニティセンターにて、屋内退避時の住民行動を実演し、動画で配信を行った。

～屋内退避時の主な行動(訓練での実演)～

7:15



①建物に入り玄関のドアを閉める



②開いている窓を閉め、換気扇を止める



③テレビ・ラジオから情報を確認



訓練の実演映像を、リアルタイムで市ホームページで公開

■緊急時環境放射線モニタリングを実施

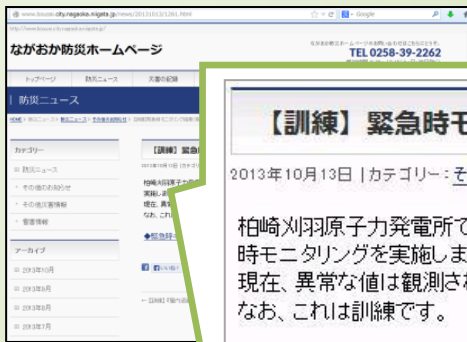
市独自に緊急時環境放射線モニタリングを実施し、放射線の値を計測した（放出前のため平常時の値であることを確認）。

計測結果は、市ホームページ（「ながおか防災ホームページ」や「長岡市放射線観測システム」）により公開した。



市職員による緊急時環境放射線モニタリングの実施（大積コミュニティセンター前）

【ながおか防災ホームページ】



第1報(6:35時点のモニタリング結果)、第2報(7:35時点のモニタリング結果)を公開（数値は平常時の値）

【訓練】緊急時モニタリング結果（第1報）

2013年10月13日 | カテゴリー: その他のお知らせ (60 views)

柏崎刈羽原子力発電所で緊急事態が発生したため、宮本・大積・青葉台地区において、緊急時モニタリングを実施しました。
現在、異常な値は観測されていません。
なお、これは訓練です。

◆緊急時モニタリング結果について(6時35分現在)

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

測定場所	測定時刻	
	6時35分現在	7時35分現在
大積小学校	0.065	0.065
地鐵トンネル付近	0.060	0.060
大積田代町公民館付近	0.065	0.065
宮本小学校	0.065	0.060
青葉台小学校	0.065	0.060
青葉台中学校	0.065	0.060

7:15

【長岡市放射線観測システム】

〈訓練〉宮本・大積・青葉台地区で緊急時モニタリング訓練を実施いたしました。なお、午

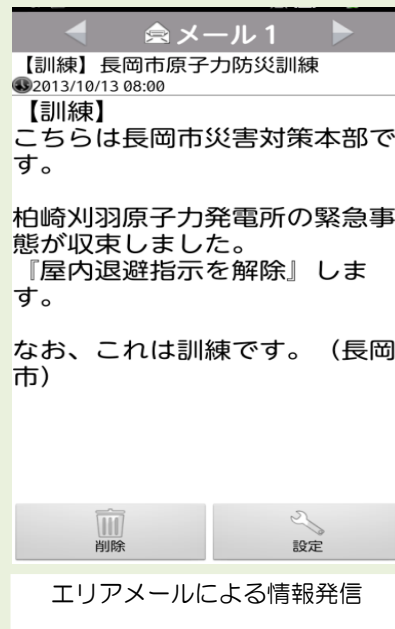
訓練で実施した緊急時モニタリング結果をホームページ上のテロップで公開

③ 市から「屋内退避指示」を解除

柏崎刈羽原子力発電所で緊急事態が収束したとの想定で、対象地域の住民に対して実施した屋内退避指示を解除した。

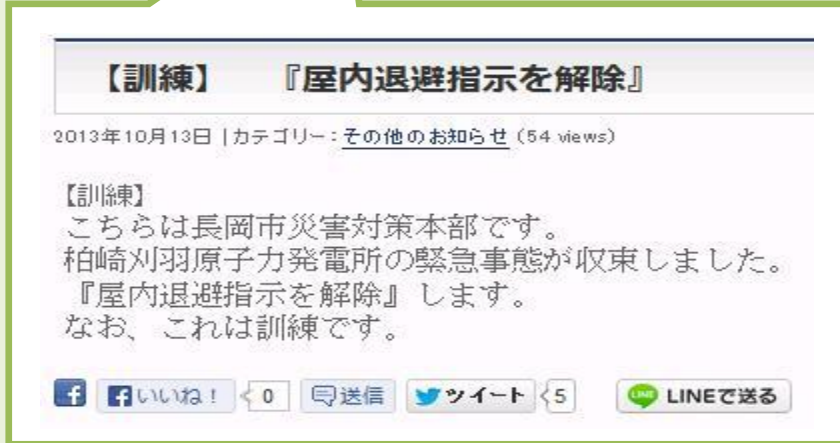
■情報機器を活用した情報発信

屋内退避準備指示と同様に、緊急告知FMラジオ、エリアメール、NPOメール、ケーブルテレビ、市ホームページなどを通じて情報発信した。



エリアメールによる情報発信

8:00



屋内退避指示の解除を「ながおか防災ホームページ」へ公開

■市から町内会長への伝達

屋内退避指示と同様に、市から宮本地区、青葉台地区の各町内会長等への電話連絡（自動音声）を実施

（※大積地区町内会長等の電話連絡はシナリオ上で対応）

～屋内退避解除によりシナリオⅠの訓練は終了～

(2) シナリオⅡ「風向きなどを考慮し、要援護者の避難」【大積地区 約100人】

① 現地災害対策本部による要援護者の避難の決定

屋内退避が数日間継続しているとの想定で訓練を開始した。

【シナリオⅡ（要援護者の避難実施）に至るまでの経緯等】

- ・ 訓練地区の6地点のうち2地点で平常時の上限に近い放射線量を計測
- ・ 市は、緊急時モニタリング、風向きなどの気象情報や道路情報、地域の特性などを考慮し、国（合同対策協議会）との協議結果を踏まえ、大積地区の要援護者避難を決定。
- ・ 合わせて、臨時避難先を、3つの候補地の中から、中之島文化センターに決定

■ 現地災害対策本部会議(大積コミュニティセンター)①

大積コミュニティセンターに現地災害対策本部を設置した。

現地災害対策本部での対応状況を報道機関に公開すると共に、市のホームページに動画をリアルタイムで発信した。



現地災害対策本部会議

8:05

現地災害対策本部では、緊急時モニタリング、気象情報、道路情報、住民の状況や国の合同対策協議会との協議結果等を確認し対応を検討した。

【緊急時モニタリング結果】

■ 今回の訓練の想定 ■

1時間間隔で測定した結果、大積地区の地蔵トンネルと田代公民館の付近2地点で平常値の上限に近い値まで上昇



地図上で放射線量が高い値を計測した地域を確認

■現地災害対策本部会議(大積コミュニティセンター)③

大積地区連合町内会長から地区住民の状況を確認した。

【住民の状況】

■会長からの意見■

「高齢者が多い地区。万が一の避難となれば時間がかかる。」



- 国の一時移転基準に達してはいないが、住民の安全確保のために大積地区の要援護者の避難を決定
- 臨時避難先は、気象情報、道路情報等を考慮し、3つの候補地の中から、中之島文化センターに決定

8:05



3つの候補地から、当日の上空の風向き(北西の風、最大10m)、道路情報(通行に支障なし)等を考慮し、風向きと直角方向に位置する中之島文化センターを臨時避難先として決定

② 市から「要援護者の避難」を指示

■市広報車による広報

市広報車により「要援護者の避難指示」の広報を行った。

※今回の訓練は広報車による広報、町内会長への電話連絡（自動音声）のみ実施した。実際の災害では、屋内退避準備指示と同様にさまざまな方法で住民への情報伝達を実施。



市広報車による要援護者避難指示の広報

8:15

[市広報車による広報内容（要援護者避難指示）]

「訓練、訓練、訓練 こちらは、長岡市災害対策本部です。柏崎刈羽原子力発電所で緊急事態が発生しました。大積地区に『要援護者の避難』を指示します。対象の方は、直ちに行動してください。なお、これは訓練です。」

③ 「要援護者の避難」を開始

■消防団、社会福祉協議会による要援護者の避難支援①

大積地区内で避難が困難な住民(訓練では模擬)の避難を、社会福祉協議会及び消防団の支援により実施した。



福祉車両避難訓練会場



社会福祉協議会と消防団の支援により避難を開始

8:30

■消防団、社会福祉協議会による要援護者の避難支援②



消防団が社会福祉協議会と協力し、車いすの要援護者を、社会福祉協議会の福祉車両に乗せ避難先への避難支援を実施

8:30



社会福祉協議会の福祉車両 2 台により、大積町 1 丁目、大積三島谷町の要援護者(各地区 2 名)の避難支援を実施

■自家用車(レンタカー)避難

自家用車を想定したレンタカー(16 台)により、臨時避難先への避難を実施した。

8:40



自家用車避難訓練会場



マニュアルに基づき、乗り合いで避難を実施

■避難バスによる避難①

自家用車等による避難が困難な住民は、「避難対応マニュアル」を参考に、各町内会があらかじめ定めた「一時集合場所」へ集合した。

3台の避難バスにより、各一時集合場所を巡回し、住民の避難を開始した。



大積町 1 丁目一時集合場所
(大積小学校)



訓練用に配布した避難マニュアルを参考に、
長袖、長ズボン、帽子、マスク、軍手などの
服装で一時集合場所に集合

8:30



避難バスに乗車

原子力防災訓練参加者用(避難訓練に参加される皆様へ)
避難対応マニュアル
平成25年10月13日(日)に防災訓練を実施します。

このマニュアルは、方が一斉の原子力災害発生時に、市民のみならず「適切な行動」を取っていただくため作成したものです。あらかじめお読みいただき、訓練当日にご活用ください。

1 訓練当日(10/13)のスケジュール

午前 8:15	市から、「要保護者の避難」の指示があります。 ※「要保護者」は、町内会への届出が完了した方です。 ⇒ ①自家用車運転の方は、臨時避難先へ直接移動してください。 ⇒ ②避難バスで避難する方は、各町内会で決めた一時集合場所に移動し、バスに乗車してください。 ⇒ ③福祉車両で避難する方は、消防団員が自宅に迎えに行きますので、移動の準備をしてください。
午前 9:00	集結した避難バス、福祉車両が大積小学校を出発します。
午前 9:45	閉会式を行います。 ⇒ 訓練終了です。
午前 10:00	バスで大積地区に送還します。 ⇒ 訓練参加者の皆様(全員)は、送還バスにてお帰りの予定です。

2 避難バス時刻表

1	大積三島谷町 (三島谷コミュニティセンター前)	大積町1丁目 (大積小学校)	
発	8:30	9:00	
2	大積町3丁目 (大積公民館前)	大積町2丁目 (大積公民館前)	大積島上町 (大積公民館前)
発	8:30	8:35	8:45
3	大積高島町 (大積公民館前)	大積千本町 (大積公民館前)	大積田代町 (大積公民館前)
発	8:30	8:40	8:45

避難対応マニュアル
(避難訓練参加者に事前配布)

agaoka.niigata.jp/shisei/nuclear-safety/kurren_20131013.html

を確認します。

3. 訓練資料

<p>長岡市原子力防災訓練 (A3横二ツ折)</p>	<p>屋内退避対応マニュアル (A3横二ツ折)</p>	<p>避難対応マニュアル (A3横二ツ折)</p>
--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------

4. 臨時避難先

訓練当日の13日早朝、風向きなどを考慮し臨時避難先を中之島文化センターに決定しました。

～臨時避難先の候補地～
〔新潟・村上方面〕中之島文化センター(長岡市中之島9807-3)
〔新潟・魚沼方面〕川口公民館(長岡市東川口1979-130)
〔栃木方面〕栃尾文化センター(長岡市中央公園1-36)

最終更新日 平成25年10月16日

このページの担当 原子力安全対策室
TEL:10258-99-2305 FAX:10258-99-2283
メール:gen-an@city.nagaoka.lg.jp

「屋内退避対応マニュアル」「避難対応マニュアル」は
市のホームページで公開中

■避難バスによる避難②

臨時避難先の中之島文化センターに移動を開始した。

避難バスでの移動中では、屋内退避対応マニュアルの内容の説明や、タブレット型端末を活用した訓練の動画配信などを行った。



パトカーの誘導により避難開始



北陸自動車道を通り中之島文化センターへ

9:00



避難バス内で、マニュアルや訓練の内容の説明、携帯用端末機器を活用した情報提供などを行った

④ 住民が「臨時避難先」に到着～閉会式

■中之島文化センターへ到着 ～閉会式

臨時避難先の中之島文化センターに、約 20 分～45 分で到着し、閉会式を実施した。



臨時避難先（中之島文化センター）



臨時避難先へ到着

9:45



避難先へ集合



閉会式の市長あいさつ

～訓練終了～

■ 訓練実施状況の情報発信 ■

市のホームページでは、訓練の実施状況をリアルタイムで公開しました。なお、訓練の結果（動画配信も含む）については、市のホームページでご覧いただけます。

www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/nuclear-safety/kunren_20131013.html

Google カスタム検索 検索

文字サイズ 大 標準 小

トップページ | 暮らし | 子育て・教育 | 観光 | 産業 | 市政

このサイトの使い方 | English(Nagaoka International Affairs Center) | RSSIについて | サイトマップ | 検索のヒント

総合案内

- よくある質問(Q&A)
- イベント
- 施設案内
- 庁舎案内
- 部署連絡先
- 申請・届出書式

バナー広告

バナー広告について

ふるさと長岡への応援寄付金
"ふるさと納税"のお祝い

写して送ろう!
まちのサイン看板

市政

トップ > 市政 > 長岡市原子力安全対策室 > 原子力防災訓練を実施しました(平成25年10月13日開催)

原子力防災訓練を実施しました。(平成25年10月13日開催)

長岡市では、国の原子力災害対策指針や県・市の防災計画などを踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所で緊急事態が発生した場合を想定し、市内3地区を対象に原子力防災訓練を実施しました。
この訓練は、「適切な住民行動に主眼を置くことで、「屋内退避」の重要性や風向きなどを考慮した「避難」の考え方について、全市民から理解を深めていただくことを目的としています。

▲自主防災会の情報伝達訓練のようす

▲消防団車両による広報訓練のようす

訓練当日の映像

訓練映像

長岡市の放射線観測システム

長岡市放射線観測システム

長岡市の防災情報(訓練で出した指示)

ながおか防災情報

1. 実施日時

10月13日(日) 午前7時

2. 訓練のポイント

(1)異なる2つのシナリオ
シナリオⅠ・・・長岡

■実施時間 午前7時

■対象地区 宮本

シナリオⅡ・・・屋内

■実施時間:午前8時

■対象地区:大積

訓練実施状況を動画で配信しています。

xbs.jp/genshiryoku/

Google

長岡市原子力防災訓練 映像配信

長岡市

長岡市ウェブサイトへ

録画映像リスト

	1) 情報伝達 町内会長宅 FMラジオ・エリアメール・電話で情報入手、副会長へ電話	2013/10/13 am 7:00 再生する
	2) 情報伝達 大積コミュニティセンター前でアナウンスする広報車が通過	2013/10/13 am 7:30 再生する
	3) 緊急時モニタリング 大積コミュニティセンター玄関前で緊急時モニタリング実施	2013/10/13 am 7:35 再生する

http://xbs.jp/genshiryoku/

長岡市原子力安全対策室

〒940-8501

新潟県長岡市大手通1丁目4番地10

電話 0258-35-1122 (代表)

0258-39-2305 (直通)

FAX 0258-39-2283

URL

<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/nuclear-safety/>